

昨年は支部設立80周年ということで、『日本山岳会関西支部八十年史』を刊行し、記念式典・フォーラムを開催することが出来ました。これも偏に支部会員の皆様のご尽力と全国会員のご協力の賜物と感謝しております。今年、80周年記念事業の仕上げとして、①支部県境縦走の完全踏査、②ネパール東部カンチェンジュンガ山群ナンガマリへの海外登山隊派遣によるⅡ峰の初登頂と、Ⅱ峰からⅠ峰への縦走を目指しています。いずれも重廣前支部長の陣頭指揮の下で実施されますが、この二つの事業が事故なく成功するよう万全のバックアップ体制を敷く必要性を痛感しております。

特に、東ネパール登山隊には重廣前支部長とともに支部委員数名が参加しますことから、登山隊派遣期間中の支部運営は少なからず影響を受け、この時期を如何に乗り切るのかも重要な課題と認識しています。支部委員の皆さんと協力して、この間も支部活動が順調に遂行されるよう取り組んでまいります。

あわせて、この登山隊派遣に必要な費用が精査されるに連れ、現地でのリエゾンオフィサーやポーターにかかる費用が当初予定を上回ることや、予定していた補助金が十分に得られなかったことなどによる資金不足に直面しています。登山隊には経費節減の努力をよりいっそう求めてまいります。ある一定の限界も感じているところです。そのため、この登山隊派遣成功を目指して、引き続き80周年記念事業募金活動を継続してまいります。既に目標額を上回る基金を頂戴し、誠に心苦しい所ではありますが、なお一層のご協力をお願い申し上げます。今回の登山隊は、「支部報」を通じて隊員を公募し、参加希望者による山域の研究、登山タクティクスの研究、合同高所トレーニングなどに取り組んできた、いわば、関西支部手作りの登山隊であります。80周年を記念するきわめて重要な、登山クラブとしても非常に有意義な取

り組みでありますので、会員各位の更なるご援助をお願い申し上げます。

さて、前号の「支部報」に掲載された金井健二氏による辛口の論評「一永年会員のつぶやき」に、私も全く同感であります。特に“さりながら、会務運営上、現実にもどうしても実費負担相当分の徴収が必要といわれて、拒否できる永年会員はおそらくいないであろう”との表現は、永年会員たちの日本山岳会に対する深い愛着の念を表現したものと感じました。

昨年9月に実施されました「支部合同会議」の場で、永年会員の年次晩餐会会費免除の取りやめ、会報「山岳」や「山」の実費負担など、50年間の在籍会員の特典授与の廃止を提案する旨の説明がありました。いずれも、本部の「再生委員会」からの提案でありましたが、収入増と支出削減を目標とする数々のリストラ策の一案として提案されました。私は永年会員を多く抱える支部の代表として、長年日本山岳会に貢献してきた会員へのささやかなボーナスの廃止に異議を申し立てましたが、私に同調する他支部からの発言は残念ながらありませんでした。関西や越後など設立が古い支部は多くの永年会員を抱えていますが、比較的新しく設立された支部は影響を感じなかったようでした。結果的に理事会で年次晩餐会の会費負担は承認され、昨年の晩餐会の永年会員の参加は著しく減少する結果となりました。

また、会報「山」の4月号では、再生委員会から、永年会員の実費負担は課題が解決しないので見送る旨の報告があったところです。近年の入会年齢を考慮すると、永年会員になる50年間を会員で過ごせる人は極めて少なく、そのうちに永年会員特典の取得者は減少します。何も躍起となって今リストラを進める必要があるのか疑問です。とは言うものの、再生委員会の真摯な取り組みは、聖域なき経費削減とともにあらゆる慣行事例にメスを入れるもので、何も永年会員だけをターゲットにしたものではないので、そのご尽力には頭を下げるものです。

このように、「お願い」と「ぼやき」ばかりの就任ご挨拶となりましたが、今西壽雄、阿部和行、重廣恒夫の歴代支部長とともに関西支部を歩んでまいりました私の経験を、今後の支部運営に生かすことを目指してまいりますので、会員各位のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

日本山岳会関西支部

東ネパール登山隊 2016

壮行会のご案内

日 時：2016年8月3日(水) 午後6時30分

会 場：大阪梅田「大東洋」

会 費：6,000円

※問合せ 支部メールアドレス宛

平成28年度 関西支部総会報告

平成28年4月20日(水)ホテルグリーンプラザ大阪・アネックス「サファイアの間」にて平成28年度日本山岳会関西支部総会が開催された。

午後6時30分過ぎに水谷委員の司会で始まり、金井良碩支部長代行は、昨年度の大きな事業であった支部八十周年記念行事の式典等が滞りなく開催できたことのお礼と、その仕上げとして本年度実施される海外登山へのさらなる支援要請を挨拶として述べられた。

議事にしがい釘本委員より前年度活動報告、辻委員より会計報告を行い、支部会費の納入等につき質疑応答があった。中村監事の会計監査報告により議案は承認された。昨年6月重廣恒夫会員の本部監事就任に伴う支部長退任を受け、今期残任期間の新支部長として金井良碩会員、副支部長として水谷透会員・茂木完治会員の推薦提案があり承認された。続いて平成28年度の活動方針・会計予算を釘本・辻委員により説明があり、異議無く承認された。

最後に重廣氏より、今秋の東ネパール登山計画について報告された。復興支援につながる登山隊の派遣、震災後の諸費用高騰、予算の見直しなどにより不足額について再度援助をお願いされ、総会は終了した。

その後、隣のトパーズの間に移って金井会員の支部長就任の挨拶、重廣会員の乾杯の音頭により懇親会が始まった。和やかに歓談がつづく中で、村田委員の司会により新入会の瓦葺邦夫会員の紹介や東ネパール登山隊員の紹介があった。隊員各氏からはヒマラヤ登山への思いを語っていただいた。終始なごやかに時が流れ、いつの間にか閉会の挨拶が行われていた。(野口恒雄)

総会参加者名簿

青木昭 新本政子 井関正裕 岩崎しのぶ 魚津清和
 浦上芳啓 大津陸郎 岡田輝子 岡田米司 斧田一陽
 金井健二 金井良碩 瓦葺邦夫 清瀬祐司 釘本武昌
 久保和恵 黒田記代 河野直子 小島一喜 小寺佳美
 薦田佳一 阪下幸一 重廣恒夫 嶋岡章 助川征 竹中
 雅幸 田島聖子 辻和雄 中島隆 中村久住 西尾俊子
 野口恒雄 野村珠生 橋本圭之輔 平井一正 平林克敏
 廣瀬貞雄 廣田猛夫 松仲史朗 松村文子 松波幹夫
 水谷透 宮野章 宗實慶子 宗實二郎 村田かおり 茂
 木完治 山内幸子 山本義博 (計49名)

欠席者のたより

□世界の山、秘境などを取材した体験談を目下、山岳雑誌「岳人」に連載中で、2年ほどになります。好評のため、まだまだ続ける予定です。読んでいただければ幸甚です。

3915 藤木高嶺

□老境ながら診療を続けております。貴会の益々の発展をお祈り申します。

5590 塚崎義人

□今回も欠席とさせていただきます。支部報に「関西支部と私」の文章の掲載ありがとうございます。本部のASC、東京多摩支部スキー同好会に入って山スキーの山行に参加しています。縁あって高尾山のガイドに月1～2回、関係しています。

7373 水谷弘治

□お陰様で元気です。最近はお出掛けの先が二度目のところが多くなり、いささか意欲を欠きますが忘れていた景色に新鮮さを感じています。総会は参加できず、申し訳ありません。

8002 新井 浩

□京都の藤尾森づくりの会では、泰氏にお世話になってます。

12972 井原哲士

□雪が少ない冬でした。庭はすっかり土が出て、スイセン、チューリップの芽が出ています。白山は真っ白ですが……。

13000 井上達夫

□やや体調不良のため、夜間の外出は控え、体調管理に努めているところです。皆さんによろしく。

13590 山並久次

□日程的に都合がつかず欠席とさせていただきます。今年ではできるだけ“ゆるやか山行”に参加したいと思っています。

14322 前田正彰

□なかなか時間がなくて参加できません。今年は心機一転、時間をつくって一度は登山に参加したいと思っています。プライベートでは、大杉谷を下降してみたいと思っています。

14439 横谷好則

□新入会員なので参加したいのですが、当日は所要のため欠席いたします。

15912 諏訪千絵



関西支部と私

廣瀬健三

1964(昭和39)年、日本山岳会に入会し関西支部員となりました。山行や各種の集いにも参加せず全くの名簿会員でした。

2004年の藤木祭での宗實夫妻、金井健二さんとの出会いがきっかけで以後積極的に多くの山行などに参加したからです。そして何と多士済々の会員の方々だろうかと思いました。

わが国を代表する登山家(女性登山家も含めて)、又多くの名著を発表されている方、インテリジェンス溢れる読書家、高齢でも第九を高らかに合唱されている音楽家、スケッチ、写真で個性を発揮されている方にと、限りなき人材キラ星の如しです。これからの関西支部もどうかこの良き伝統を受け継ぎ更に発展してほしいものです。伝統は資産、この資産がエネルギー源になると確信しています。限られた紙面上、お名前を列記できなくて残念です。

強く印象に残る山行としては、2006年の四国分水嶺踏査と、今西壽雄氏マナスル初登頂五十周年記念トレッキング、2008年のカムチャッカ半島アバチャ山登山があります。2006年7月・8月の四国山行は、久方ぶりで山を

歩いたという感じで非常に充実感を得たものでした。マナスル三山展望トレッキングの際、夕餉時に重廣前支部長のヒマラヤ登山物語を一杯やりながら拝聴、将に至福の時間でした。カムチャッカ登山も強く印象に残っています。アバチャ山頂でロシア人らしきグループが十字架を掲げ、合唱していました。何か神々しさすら感じたものです。現在は「ゆるやか山行」には原則、毎回参加することとしています。2010年に京都東山三十六峰を歩く計画で伏見の稲荷さんからスタートしています。久保、山内両リーダーの下、歴史・文化を訪ねながら、時には少々ハードな山行で、小生にとり、毎月のメインイベントです。個性豊かな方々と歩くのも愉快的なことです。分けても凄いヒマラヤニストで高名な学究人でもある平井一正先生のお話を聞けるのも嬉しく思っています。ヒマラヤニストと言えば平林克敏氏です。登山家としてだけでなく、国際的な企業人としての氏は関西支部の大いなる誇りでしょう。

日本山岳会で最も古い支部、関西支部の栄光ある歴史の片隅で歩ませてもらっているのはありがたいことです。

(会員番号5826 2016/3/30受)

支部山行報告

支部山行15-33 陽だまり山行
三日月町 御殿山

山内幸子

1月7日(木)晴

年初めの「陽だまり山行」は、姫路在住で播磨の山に詳しく中央分水嶺踏査の但馬・青倉山から氷ノ山までの区間でお世話になった須磨岡氏の計画で、2004年1月18日の備前・熊山を第1回として実施し、今回で13回目になる。

三日月駅に到着すると、須磨岡さんとサポーターの佐々木正夫さんが下山後の新年懇親会で振舞う猪汁の材料等を車に積んで待っておられた。

須磨岡氏の先導で、1日だけ願いを聞いてくださる日限神社に向かい挨拶と準備体操をすませ登山口へ向かい、いきなり急登から始まる。200m程あえぎあえぎ尾根に上がり左折したところの広場で小休止し後続を待

つ。ここからは傾斜がゆるやかになるので楽に頂上まで行ける。三等三角点・御殿山(350.52m)の頂上は広く、三角点を囲んで丸太が並べられている。この日のために須磨岡さんが整備され、途中のテープや新しい標識板も新しく付けてくださっていた。

下山後の猪汁のために“腹五分目にしてください”と言う指示で軽い昼食をとり下山は鉄塔コースを進む。石造道標から左折し、近道して懇親会会場に直行する。

列祖神社の階段を上った広場に古い建物(藩校『廣業館』の一部を改修したもの)があり、その前の東屋風の建物前で佐々木さんが仕留められた猪の猪鍋ができあがっていた。金井支部長代行の音頭で新酒「雪彦山」で乾杯。暖かく美味しい猪汁でホッコリしお代わりまでし、参加者差し入れのお酒やおつまみで盛り上がる。

三日月駅までの帰路は、時間を気にしながら「あじわいの里三日月」に寄り道して駅に急いだが15時台の電車がなく、予定の16時33分まで歓談しながら過ごした。

**日本山岳会関西支部「東ネパール登山隊2016」
追加募金のお願い**

関西支部長 金井良碩
登山隊長 重廣恒夫

関西支部では設立80周年記念事業の一つとして、東ネパール北東部(カンチェンジュンガ山群)に海外登山隊を派遣し、チベットとの国境に近いナンガマリⅡ峰(6209m)からナンガマリⅠ峰(6547m)への2kmに及ぶ縦走登山を行う計画で、2013年6月から80周年記念プロジェクト(PJ)として準備を進めてまいりました。

2014年6月の「関西支部報」により参加メンバーの公募をおこない、プロジェクトチームを構築して登山ルート決定をいたしました。2015年2月の第15回PJ会議からは、「ヒマラヤ登山塾」と名称も新たに、タクティクス、装備、食糧、通信、輸送などについて、過去のヒマラヤ登山隊の報告書や各種文献などを参考にしながら準備を進めてきました。また、同年4月からは月1回のヒマラヤ登山塾と5回のトレーニング山行を実施し、登山技術や体力向上に努めてまいりました。ただ、経費面につきましては、計画の当初予算を

1600万円として、個人負担金800万円、本部助成金300万円、支部募金500万円を予定し、支部の皆様から多大なご寄付をいただきながら、本部助成金が依頼金額の半額にとどまりました。加えて、縦走登山のため2つのピークの登山許可が必要となり、リエゾンオフィサーやサーターなどの現地スタッフの装備費、保険金などが倍額になることなどから、国外費用で約1万ドルの不足が生じました。したがって、当初予算に対し、収入で約150万円の不足、支出では約100万円の増加が見込まれ、合わせて約250万円の資金調達が必要となりました。

皆様方には再度のお願いとなりますが、今一度のご援助をお願い申し上げます。幸い、関西支部設立80周年記念募金は、予定を上回る基金が寄せられ、現在では募金額が700万円余となり、登山隊に600万円余を助成できる見込みとなっています。登山隊の出発まで3ヶ月余となりましたが、タクティクスの見直しによる経費削減、装備食糧の寄贈依頼などを積極的に進め、経費の削減をなお一層進めてまいります。本登山隊の成功のため、何卒引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【コースタイム】

三日月駅10:53—11:00 日限地藏尊11:09—11:23登山口—12:06御殿山12:34—13:16列祖神社14:50—15:36三日月駅

【参加者】 須磨岡輯 山内幸子 新井浩 新本政子 岩崎しのぶ 魚津清和 浦上芳啓 岡田輝子 金井健二 金井良碩 久保和恵 中島隆 橋本圭之輔 松上美代子 宗實慶子 森澤義信 (会友)岐部明弘 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 (会員外)浅田博三 新井幹子 新本孫宏 計23名 (サポーター)佐々木正夫



列祖神社にて 写真提供：魚津清和

**支部山行15-34 ゆるやか山行「里山探訪」
歴史と文化を訪ねる29
生駒山地 飯盛山**

横山規江

1月14日(木)晴

集合場所、野崎駅に降りて初めて知った。かの有名な野崎小唄の駅だと。「野崎参りは屋形船でまいろ、どこを向いても菜の花盛り粋な日傘にゃ、蝶々もとまる」屋形船が通ったであろう名残りの川が駅前にちょこっと残されていた。「絵日傘峠」と美しい名前の峠も行く先にあった。

野崎観音慈眼寺ではぜんざいのお接待を受け、心身共に温まり出発。道中、地元の人らしき人々も含め、たくさん人々に出会った。あらゆるものに感謝しにお参りに来るのは今も昔も同じなのかな、と知っているうちに野崎城址展望台へ到着。展望良く南は堺方面まで望めた。町のパトカーの鳴り響く音が鮮明に聞こえ、音は上に上がることを実感した。50分程登り、冬枯れの池をわき目に見ながら野外活動センターに到着。入館料が要るため昼食場所は屋外に変更した。畦道に並んで食べ、昔懐か

しい気分になった。ここから飯盛山、権現の滝近くまでは更に階段が増えアップダウンが多かった。その後室池へと向かう。江戸期までは氷室池と呼ばれ平安の昔、氷を蓄え京へ運ばれ宮廷で使われていたそうだ。室池からはひたすら下りで御机神社に到着。境内には“とんど焼き”の準備がされており、一年の始めを感じた。最後に訪れた楠木正行が主祭神である四條畷神社は広い境内で立派だった。最寄りの四條畷駅で解散した。



粛々と歩を進めるメンバー 写真提供：魚津清和

【コースタイム】

野崎駅10:07—10:20慈眼寺—11:02野崎城址—11:42絵日傘峠—11:52野外活動センター—12:35—12:58飯盛山—13:51権現の滝—14:40室池—15:33御机神社—15:55四條畷神社—16:19四條畷駅

【参加者】 久保和恵 山内幸子 上田典子 魚津清和
内田嘉弘 浦上芳啓 黒田守彦 薦田佳一 嶋岡章 助
川征 戸島泰三郎 平井一正 松上美代子 水谷透 宗
實慶子 (会友)岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中
アキエ 中田栄 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江
(会員外)浅田博三 計24名

支部山行15-36 県境縦走37

竹内峠～大和葛城山～金剛山

青木 昭

1月23日(土)晴時々曇

当麻寺駅から2台のタクシーに分乗し竹内峠へ向う。天気予報だと今年最大の寒波が押し寄せ山は大荒れになるとの予報だが天気もまずまず、風も無く少し歩くと汗ばむくらいの穏やかなスタートとなった。

今回のコースはほぼダイヤモンドトレールと重なり歩きやすいと思いきや、別名「階段トレイル」と呼ばれるだけあってなかなか足に堪えるルートである。しかし参

加者の足並みも揃って予定より約1時間早い推移。途中岩橋山の由来となった岩に寄り道、さらに胎内くぐりに向かうが時間切れで断念。

葛城山が近づくにつれ雪が少しずつ出てきたがアイゼンを付けるほどでもなく、山頂で集合写真を撮った後、下山される前田さんを見送り、予定より30分早く葛城高原ロッジに到着した。先にロッジに到着していた辻さんと松村文子さんに出迎えを受け、途中から宗實慶子さんも合流し、風呂で体を温め鴨鍋宴会で鋭気を養った。

1月24日(日)晴、強風

一夜明けると少し雪が降って風も強く冬山の様相の中、アイゼンを付けスタートした。

水越峠までダイトレのコースを辿るので、スムーズに進行した。水越峠からは県境稜線に沿って、かなりの急斜面を喘ぎながら登り、細い尾根の下りではアンザイレンしたので、行程が大きく遅れだした。昼食を摂る時間も惜しんで頑張り、やっとのことで太尾塞跡に飛び出した。ここからは再び一般コースに乗り、一同やれやれの面持ちである。六道の辻を過ぎた地点から時間が押している為県境をパスし、大日岳から山頂広場に向かったのではほぼ予定通りに到着。その後、ロープウェイ、金剛バスを乗り継ぎ富田林駅で解散となった。



葛城山山頂にて 写真提供：青木 昭

【コースタイム】

23日 竹内峠08:40—09:08竹内山—09:47平石峠—10:07万才山—10:56岩橋山—12:53 P623—13:06持尾辻—13:46 P726(笠松)—14:19忍海道分岐—15:31葛城山頂上—15:51葛城山高原ロッジ

24日 県境復帰08:20—09:35水越峠—11:43登山道合流—11:58県境復帰—13:59太尾塞跡—14:17六道ノ辻—14:22県境離脱—14:35大日岳—14:54山頂広場—15:42ロープウェイ金剛山駅

【参加者】 重廣恒夫 新本政子 黒田記代 橋本圭之輔

松仲史朗 村田かおり (会友) 松村竹次郎 青木昭
 (23日のみ) 前田正彰 (24日のみ) 岩崎しのぶ 辻和雄
 (宿泊のみ) 宗實慶子 松村文子 23日 9名 24日 10名

**15-37 4000山グランプリ
 下呂御前山～寺田小屋山～湯ヶ峰**

重廣恒夫

今月の4000山グランプリは、「福井の山 金毘羅山から国見山」の予定であった。しかし、行程表を作成しようとした1月中旬に雪は皆無だったので、1月、2月の目的地を変更した。

1月30日(土)曇

早朝に神戸を出発し、「ワイドビューひだ1号」で下呂駅に到着した。タクシーで大洞集落に向かう。運転手さんの話では昨日の雨でだいぶ雪が融けてしまったという。準備の後林道に入り、途中作業小屋と東屋を過ぎると登山道となる。檜の植林の中の歩きやすい道を進むとすぐに五合目(880m)の標識となり、六合目(1000m)を過ぎると雪が出てきた。林道を横切り、「お助け水分岐」「どんびき岩」を過ぎると展望台で、眼下に下呂方面の山並みを眺めることができた。八合目(1250m)から北に向かう稜線歩きとなり、岳見平、高岩神社を経て下呂御前山の山頂(1412m)に着いたが、展望の無いのが残念である。

八合目に戻り稜線伝いに南下し、観音峠に着いた。秋には越冬地に渡る鷹の群れが観察できるという。峠から稜線伝いに南東に進みキャンプ予定地の1280m地点を過ぎ、更にP1378を越えた笹原の上にテントを張った。

1月31日(日)晴

キャンプ地にテントを残したまま暗い中を出発する。昨日はツボ足で歩いたが、今日はワカンをつける。しか



雪の下呂御前山(空谷山)頂上 写真提供:重廣恒夫

し雪は少なく、深い笹の頭が出ており度々足を取られる。小さい上り下りを繰り返しながら高度を上げると、左手前方に暁光を浴びた御嶽山が見えた。最後の急登で東西に細長い寺田小屋山の山頂に着いた。積雪は少なく三角点が頭を出していた。

日差しを浴びてキラキラと輝く霧水の頂上での休憩もそこそこ下山にかかる。テントを回収して下降点に向かうが、途中コースミスして1時間のタイムロスをした。向かう先を予定の大林ではなく乗政に変え、長い林道歩きの末唐谷口バス停に降り立ち、タクシーで下呂駅に向かった。

【コースタイム】

30日 下呂御前山登山口10:17—11:06八合目12:45—13:18
 下呂御前山—13:42八合目—14:46観音峠—16:02 P1378—
 16:14キャンプ地

31日 キャンプ地05:45—07:38寺田小屋山—08:53キャン
 プ地09:30—10:58 P1293—12:16林道合流12:45—13:13湯
 ヶ峰—14:06林道合流—15:46唐谷口バス停

【参加者】 松仲史朗 重廣恒夫 2名

**15-38 4000山グランプリ
 毘沙門岳・徳平山**

松仲史朗

2月20日(土)小雨後雪

前日岐阜入りし、早朝JR岐阜駅に集合。高山線美濃太田駅経由で長良川鉄道美濃白鳥駅へ。タクシーの車窓より北方に大日ヶ岳が見えたが雪が少ない。スノーウェーブパーク白鳥高原の入口から取り付く。スキーヤーらの歓声が聞こえるグレンデに沿って緩やかなミズナラ林を登りきるとロマンスリフト終点到着。小雨が降り続く中P1201に向かう。いったん下ってから急な尾根をラッセルしながら登り続けた。毘沙門岳の手前左側は雪庇だがそんなに発達してなくて崩れそうな感じはしない。取付から標高差400mを登って12時22分に到着した。頂上は地吹雪で視界がなく、二等三角点は雪に覆われて見つけられなかった。往路を戻り、この日の登山を終了し、タクシーでキャンプ地に向かった。油坂道路の越美トンネルを越えてすぐの入谷林道の橋を渡った処でテントを張った。快適なテントサイトだが夜通し雨が降った。

2月21日(日)雨時々雪

3時起床、雨が降り続けている。今日も天気が悪い。テントサイトに露営具をデポして出発。北々東尾根の雪が少ないので、林道終点まで歩き北々東尾根に突き上げ



テントサイト 写真提供：重廣恒夫

ている支尾根をピストンすることになった。山頂まで急登が長く続くが、雪質が悪く時間を要した。時々ガスが切れ太陽が顔を出すと、樹間から北方の稜線が見えた。藪を覆った雪とブナ林も見応えがある。北々東尾根に合流し徳平山までさらに急登が続く。徳平山山頂手前の木々は雪をまといきれい。ここも山頂は地吹雪だ。帰路は足元に注意しながら急斜面を下った。何とか予約の時間に間に合い、入谷林道入口に待機していたタクシーに乗り込み美濃白鳥駅に向かった。

【コースタイム】

20日 スノーウェーブパーク09:38—10:45ロマンスリフト終点—11:05 P1201—12:22毘沙門岳—13:16 P1201—13:29クワッドリフト終点—14:09スノーウェーブパーク

21日 テントサイト04:56—08:16 P960—10:29徳平山—10:59北々東尾根分岐—11:39 P960—12:21支尾根根取付—12:43入谷林道終点—13:16テントサイト—13:25入谷林道入口

【参加者】 重廣恒夫 立野里織 松仲史朗 3名

支部山行15-39 ゆるやか山行「里山探訪」 歴史と文化を訪ねる30 丹生山系 帝釈山・丹生山

魚津清和

2月25日(木)晴

丹生神社前バス停から北へ少し歩いたところの志染川沿い(ふもととはし横)でレジメと準備体操を済ませ参道に沿って急坂を上がって行く。途中、P245.6の北川原三等三角点探索組(藪組)と丹生神社参道組とに分かれて行動し丹生神社分岐手前で合流する。分岐を右に鉾山道への林道を進む。帝釈鉾山跡には坑口の奥に梵天滝が、水量は少ないが上部奥の方から流れ落ちるのを見て取れる。

滝の両側の幾重にも重なる岩壁に圧倒される。休憩後、少し下った帝釈山尾根道合流地点から岩の多い谷筋を登り始める。中腹で休憩。プチ弁当で補給後、さらに岩の重なる急坂を登り詰めると丹生山系縦走路に合流する。この急坂は登り応えがあった。休憩もせず帝釈山山頂に向かって急坂が続く自然林の中を進み帝釈山山頂に到着。帝釈山二等三角点。南面の展望は明るく、遠くは明石海峡、淡路島が遠望でき、眼下に鈴蘭台方面の街並みが覗える。ここで昼食。昼食後は、丹生山に向かって緩やかなアップダウンの縦走路を西にとって進む。よく整備されて歩きやすいが眺望はない。丹生山到着。山頂からの展望は、南面で六甲山系の一部を確認するに留め、バスの乗車時間を見て下山を早める。下山道は、源義経が鶴越えの奇襲作戦に使ったとされる義経道をとる。予定のバスを一番遅らせP336手前の展望の開けたところで時間調整。この辺りはコバノミツバツツジの群生地。満開時は素晴らしいとの事。お茶タイムの後、コナラ、カシ、マツなどの雑木林を抜けて下山。強い寒気が流れ込み、冷え込みが強まると心配されたが快晴無風、穏やかな山行日和になった。

【コースタイム】

丹生神社前バス停10:08—11:14丹生神社分岐—11:44帝釈鉾山跡(梵天滝)—12:42縦走路合流点—13:01帝釈山山頂13:40—14:27丹生山—15:38衝原バス停

【参加者】 久保和恵 山内幸子 新井浩 上田典子 魚津清和 浦上芳啓 薦田佳一 阪下幸一 嶋岡章 助川征 戸島泰三郎 橋本圭之輔 廣瀬健三 前田正彰 松上美代子 宗實慶子 森沢義信 (会友)青木昭 浅田博三 岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 播戸日出生 横山規江 (会員外)新井幹子

計27名



帝釈鉾山跡の道を通る 写真：魚津清和

支部山行15-40 関西支部県境縦走38
金剛山～千早峠～行者杉～隅田駅～若子淵～西富貴

松村竹次郎

2月27日(土)晴

山上が雪だった前月との様変わりに戸惑う。草木の装いはまだ冬だが、陽気は春を思わせる。ロープウェイ金剛山駅から出発。ダイトレのコースを西進し、行者杉からの急な尾根の下降はこの日初めての登山道の逸脱である。途中からはアンザイレンして、慎重に藪の斜面を下降。林道を眼下に見る開削面手前の難渋なトラバースを終えて林道に降り立った時はほっとした。ここから林道に続く道路を2時間ほど歩きJR和歌山線隅田駅に到着。明朝はまたここから出発することにして、1時間に一本しか走っていない電車に乗って家路を急いだ。

2月28日(日)晴

参加者に入れ替わりあり8名が隅田駅を出発。紀ノ川へ流れ込む東ノ川が県境になるのだが、川の中は通行が無理なので、並行して南下する県道を辿る。途中、東ノ川へ降り梅園内の三角点に立ち寄る。その後は県道に復帰して休憩の後、県道を離れ県境沿いに滝道の横から山中へと入る。かつての集落跡地と思われる所は水が豊富に流れ泥田状でとても歩き難い。やがてぬかるみを離れ稜線へ。この日初めて最後の頂、防城峯(768.1m)に到着した。NHKのTV中継アンテナの下を通過し、暫く歩いた登山道から県境稜線に復帰するため、藪の斜面へ突入した。ここでも安全確保のため、アンザイレンして難場を切り抜け、峠に出た。峠からは富貴中学校に向かって静かな集落の道を歩く。県道732号線、東富貴の丹生神社前で今日の行動を終えた。ここからタクシーで橋本駅に出て解散する。



行者杉にて県境に取り付く準備完了 写真提供：重廣恒夫

【コースタイム】

27日 県境復帰点09:17—09:25大阪府最高点—09:40展望台—13:09行者杉—16:33JR隅田駅

28日 JR隅田駅09:18—09:49県境横断点—11:49四等△(若子淵)—14:45防城峯—16:30丹生神社

【参加者】 重廣恒夫 岡田輝子 黒田記代 橋本圭之輔 村田かおり 山内幸子 (会友)松村竹次郎 (27日のみ) 岩崎しのぶ 立野里織 (会友)若林朋世 (28日のみ・会員外)岩田雅一 27日10名 28日8名

支部山行15-42 ゆるやか山行「里山探訪」
歴史と文化を訪ねる31
広嶺山系 弥高山・広嶺山・増位山

助川 征

3月24日(金)快晴

姫路市を囲む北側山脈に整備された近畿自然歩道を歩く。JR播但線砥堀駅スタート。紅梅が満開。キャンプ場に向かい歩き始めて5分、いきなり谷川の巨石の上から大きな毘沙門天像に迎えられる。登山道が寺院の仁王門を潜るのと同じ仕掛けであり、この山岳は霊山、この路は表鬼門に当たるらしい。キャンプ場から一本松峠まで212m、高低差125mの急傾斜。ここから右折、現地の案内図や国土地理院の地図にもない登山道を選び弥高山に向かう。「ゆるやか山行」らしい試みだ。この新ルートで1500mの距離と時間が節約できた模様。CL久保、SL山内両氏の下見のご苦労が偲ばれる。弥高山四等△(339.56m)柱石上面の十字をプレートコンパスで確認、南北に合致。昼食は頂上付近の斜面歩道で。快晴に助けられ姫路平野、更に瀬戸内海の島々が遥か遠くまで見通せる。広大な自然の中での自分を意識。小さなことがどうでもよくなる。白弊山の吉備神社と荒神社を参拝。本日のハイライト「廣峯神社」に向かう。遣唐使・吉備真備公(日本陰陽道開祖)が天平5年(733年)聖武天皇に奏上、廣峯神社を建立したとの神社説明。主祭神・素戔鳴尊(スサノオノミコト)が「武塔天神」と陰陽名で祀られていたことに驚く。国内最強の陰陽道パワーポイント地点だった。七星詣から「礼拝は感謝のみ、願い事は別席で静かに」と学ぶ。黒田官兵衛、菅原道真、千年松などが書けなくて残念。16時12分JR播但線野里駅着。走破距離12.57km、累積標高788mを全員無事に歩ききる。所要時間6時間15分。昨年JAC入会、ゆるやか山行参加4回目。友人が出来て嬉しいです。



弥高山四等三角点にタッチ！ 写真提供：中島隆

【コースタイム】

砥堀駅10:05—10:22権現山古墳広場10:35—11:17廣峯神社
分岐—12:06弥高山12:41—13:30広峯神社—14:49随願寺—
15:04増位山—16:12野里駅

【参加者】 久保和恵 山内幸子 魚津清和 岡田輝子
薦田佳一 嶋岡章 助川征 戸島泰三郎 中島隆 野村
哲夫 橋本圭之輔 廣瀬健三 前田正彰 松波幹夫
(会友)岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ
中田栄 横山規江 計20名

支部山行15-43 県境縦走

東富喜～出屋敷峠～天狗木峠

山本義博／村田かおり

3月26日(土)晴

朝、集合駅である橋本駅に予定より少し早めに、今日のメンバー5人が集合した。予定では7名であったが5人となり、タクシーは1台で間に合ったので費用的には助かった。今日の天気は晴れで山歩きには好都合となりそうなので安心してタクシーに乗り込み、今日の出発点である東富貴丹生神社に向かうこととなった。

タクシーを降りた場所で準備体操を終え出発した。県境はマツタケ山で「止め山」の標識沿いで、藪漕ぎもなく歩くのには支障がなかったが、マツタケ山の境界が県境とは異なり入り組んでいるので迂回する箇所も多くスムーズに県境を歩けるとはいえない状況であった。歩き始めから地図と様子が違うのでおかしいと思いつつ歩いてきたが、ゆっくり立ち止まり地図を再度よく確認して出発点が間違っていて一つ先の桑原垣内分岐だったと納得する。ピーク744を過ぎたあたりで早い目の昼食をとった。その後、大日岳付近からは「Kobo Trail」(弘法大師が通った道)の標識が出てきて、登山道も整備され

ており順調に進め、出発点が間違っていた事もあり本日の最終地点の出屋敷峠には予定よりも早く14時前に到着した。今回の出発点の間違いを黒田さんと松仲さんが後日(4月3日)踏査され、きちんとカバーできていたので安心しました。

(山本義博)

3月27日(日)曇時々雨

県境縦走2日目。昨夜はJR和歌山線五条駅近くの宿に泊まり、早朝にタクシーで昨日の県境離脱点へと向かった。春とは言え、まだ肌寒い出屋敷峠を出発。「弘法大師の道 Kobo Trail」のテープや木製プレートを横目に見ながら緩やかな登山道を南南東に進み、1時間弱で最初のP903(白石岳)に到着した。藪もなく歩きやすい道が続き、程なくP915を通過。ここから北東へ転じ三等△今井(セト山)、今井峠、四等△紀和隧道と順調に進む。「松茸山」だろうか、この辺りから登山道中に止め山の看板やネットが増えてくる。曇空に冷たい風が吹き雨もぱらつき始める中、才子峠を南西に進み切通し道に合流。更に西へ歩を進め鐘割峠に到着。わざわざここまで捨てに来たのだろうか廃車が景観を壊している。本日最後の三角点・上垣内を確認し、林道を横断。P1034を踏み天狗木峠に到着し、今回の県境縦走は無事終了となった。東屋でタクシーを待ち、高野山駅へと向かった。

(村田かおり)



「止め山」のフェンスの間を歩く 写真提供：松仲史朗

【コースタイム】

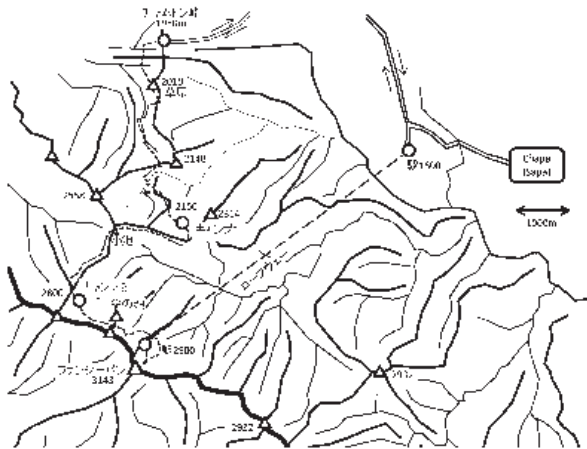
26日 桑原垣内分岐08:12—09:22P771—12:05林道出合—
12:36大日岳—13:38出屋敷峠

27日 出屋敷峠06:39—07:27P903—08:42今井—09:32紀
和隧道—11:09才子峠—13:11上垣内—14:16天狗木峠

【参加者】 黒田記代 松仲史朗 (会友)若林朋世 (26
日のみ) 山内幸子、山本義博 (27日のみ) 重廣恒夫 村
田かおり 26日5名 27日5名

支部山行16-01 関西支部海外トレッキング
ベトナム最高峰・ファンシーパン山

茂木完治



3月28日にハノイ着。29日にラオカイから高原のリゾート街のサパへ。山地民族の村のハイキング。きめ細かな模様を描く棚田が素晴らしかった。

30日。登山口のチャムトン峠を出発する。丘を登り、沢を2本溯り尾根を越えて少し下った窪地に小屋が建つ第一キャンプがあった。尾根に登ると草原に牛が放牧されていた。糞に要注意だ。道は急登になり夕方に第二キャンプに着いた。ここも小屋が整備されている。途中真紅、桃、黄の石楠花の花やサクラソウの可憐な花が目を楽しませてくれた。

31日。早立ちで頂上を目指す。この辺りは箭竹の密生帯だ。象の頭コルを通過し、ロープウェー駅から頂上への階段道に合流する。まだ道路工事中で、音がうるさい。ファンシーパン頂上(3143m)はものすごい風とガスで早々に下山する。第二キャンプで昼食をとり、第一キャンプまで下って泊まった。

4月1日。チャムトン峠へ下山して登頂証明書をいただく。昼食後、ロープウェーで再度頂上に登った。ロープウェーは2月から営業を開始したようだ。歩いた時よりも天気が良くてガスの合間に景色も見え、記念写真も撮れ、欲求不満もだいぶ収まった。

2日、ラオカイの中国国境を、3日にハロン湾クルーズを楽しみ、4日早朝に関西空港へ戻った。

【コースタイム】

3月30日 チャムトン峠09:00—11:35第一キャンプ(昼食)—16:14第二キャンプ

3月31日 第二キャンプ05:10—08:00頂上—10:40第二キャンプ(昼食)—14:35第一キャンプ

4月1日 第一キャンプ06:50—09:00チャムトン峠

【参加者】 新本政子、岡田輝子 久保和恵 重廣恒夫

野口恒雄 水谷透 茂木完治 山内幸子 (会友)川崎美保子 (会員外)尾崎邦宏 尾崎十史子 鹿住敏 澤田幸子 重廣元子 武田幸子 西川伸子 (TL)竹森壮孝

計17名



ベトナムの若者も混じって記念写真 写真提供：重廣恒夫

「本山寺山森林づくりの会」活動報告
(1月～3月)

秦 康夫

2016年1月7日(木)9:30～15:30

年頭にあたり全員で本山寺本堂にお参りしてお神酒を献上し、今年の作業の安全を祈願した。

これから何回かは、45林班「ろ4」地区の林床整備を行うことにしている。この辺り一帯は樹齢40年程度のヒノキの植林帯で5～6年前に業者が入って間伐済だが、間伐材は伐り倒したままで放置され、残されたヒノキの枝打ちも全くされてないので林間は極めて暗い。手分けして、高枝鋸を使っての高所の枝打ち、放置材を伐り揃え集積しての土留め作り、落枝の整理、作業道の整備を行い、作業道から見える斜面は大分きれいに明るくなった。

【作業参加者】 斧田一陽 宮本廣 杉本佳英 石原順子 河野直子 秦康夫 計6名

2016年1月17日(日)9:30～15:30

参加者11名を3班に分け、うち1班は武田さん引率の体験参加班、他の2班は前回に引き続き、45林班「ろ4」地区の林床整備を行った。間伐放置材の伐り揃え、土留め作り、落ち枝の集積整理、枝打ち等、作業内容は前回と同じだが、精力的に作業したお陰で作業道の両側斜面の整備が進み、気になっていた斜面に縦方向の放置材(滑り落ちる危険がある)の殆どは処理することができた。

【作業参加者】 阪下幸一 斧田一陽 倉谷邦雄 丸山喜代司 宮本廣 福井誠 猪川誠 武田寿夫 秦康夫
(体験参加)岡田輝子 若林朋代 計11名

2016年2月4日(木)9:30~15:30

前回に引き続き、45林班「ろ4」地区下部の林床整備を行った。斜面の処々に放置されている太い間伐材の処理に時間を取られたが、手分けして作業を進め、ほぼ予定通りの区画を整備することができた。枝打ち班2名の活動のお陰で林間も大分スッキリした。谷に下る作業道は土砂や落ち枝や枯葉でほとんど隠れていたが、邪魔物を片付け随所に水切り溝と階段を作ると、登山道並みの歩きやすい道になった。これで今後の作業もし易くなる。作業開始時の気温2℃、寒い1日だった。

【作業参加者】 斧田一陽 倉谷邦雄 武田寿夫 中村賢三 河野直子 宮本廣 秦康夫 計7名

2016年2月21日(日)9:30~15:30

45林班「ろ4」地区は、昨年4月~5月に西の境界稜線側から東に降り、谷筋近くまで整備済みである。昨年12月からは、同じく「ろ4」地区の東尾根側から作業を進め、4~5回の作業で昨年作業済み地域に出合う予定だった。今日は人数も揃い、順調に整備作業が進んだので、無事昨年作業済み地域まで面と面が繋がり、これで西方向、東方向の両面から進めてきた、45林班「ろ4」地区作業予定面積(業者間伐林)の整備はほぼ完了した。

作業道の整備も進め、東からの作業道も昨年設置済みの西からの作業道と連結出来たので、これで45林班「ろ4」地区の外周を巡る周回路は一応完成した。また、谷筋を塞ぐ落ち葉や枯れ枝を除去すると細い清流が姿を現してくれたのはよかった。

【作業参加者】 金井良碩 斧田一陽 武田寿夫 小櫃徹夫 倉谷邦雄 黒山泰弘 丸山喜代司 福井誠 板脇道

雄 秦康夫 計10名

2016年3月3日(木)9:30~15:30

前回までの作業で、45林班「ろ4」地区の西尾根と東尾根に囲われた一帯の整備は予定通りほぼ完了したが、あと2~3回作業して、谷筋の整備と枝打ち、それと、手ノコでは手に負えないので残して置いた太い間伐材のチェーンソーを使用しての処理をすることにした。

さすがチェーンソーの威力は大きい。伐倒放置された径30cm以上の太い材も、あっという間に切断できるが、後処理作業の土留め場所への移動・集積はなかなか大変だった。高枝鋸(通称なぎなた)による枝打ちで切り落とした枝の量は相当なもので、お陰で林間が極めてすっきりした。ただ、作業を終えたつもりで改めて周囲を見渡してみると、切り残した枯れ枝が次々に目に付き、いくらやってもこの作業には終わりが無い感じがする。

【作業参加者】 斧田一陽 倉谷邦雄 宮本廣 武田寿夫 秦康夫 石原順子 (体験参加)後藤和子 計7名

2016年3月20日(日)9:30~15:30

本年度の作業範囲は前回まででほぼ整備済みだが、手ノコでは処理困難な太い間伐材はまだまだ残している。今日はチェーンソー2台を駆使して相当量の放置材を処理し、斜面の随所に10数ヶ所の土留めを作った。それでもまだ、作業の困難な急斜面には未処理の間伐材が残ったが、これは次年度以降への繰越しとし、折を見て片付けたい。間伐材処理の傍ら、作業道の補強や枝打ち作業、谷筋の整備も進め、これで、本年度に予定していた45林班「ろ4」地区国有林境界尾根(西尾根)東斜面の整備は一先ず完了ということになった。

【作業参加者】 金井良碩 阪下幸一 武田寿夫 小櫃徹夫 斧田一陽 丸山喜代司 秦康夫 計7名

山好きの山の絵展—創立25周年記念展に参加して

小寺佳美

山好きの山の絵展は、毎年2月に有楽町の東京交通会館で開催しているアルパイン・スケッチクラブの行事です。25回目を迎えた今年は、2月21日から27日に開かれました。前日には帝国ホテルで創立25周年記念の祝賀パーティーもありました。ホテルのパーティーも楽しみですが、関心は出品の絵です。足を痛めて山には行けないので画帳にあった二枚の絵をつないで横長にした「前穂高と北

尾根」と関西支部の第1回スケッチ例会の時に描いた「甲山」の2点、「スケッチブック」は山で咲いていた花、木の実、虫などを出品しました。

帝国ホテルのパーティーには集合写真を撮るので早めに行きました。43名の出席で懐かしい方々との一年に一回の大切な時間です。25周年記念のスケッチ山行には誘ってもらいましたが、一度も参加が適わず、ここに参

加できたことは嬉しかったです。

式典では、役員の挨拶、物故者への黙祷などのあと乾杯。そして21～25期の各幹事長の思い出話がありました。「次は小寺さんひと言を」と紹介され“つたないながらも一年目より出品させていただき、25年間絵を描き続けられたのは、このスケッチの会、絵展のおかげです”と感謝の思いで挨拶しました。第一回の絵展より続けて参加の方は11名でした。

翌日からのスケッチ展は、2階ギャラリーに53名65点の絵、スケッチブック14冊が出品されていました。どれ

もが素晴らしい作品。地下のエメラルドルームでは創立25周年記念特別展として40名の出品があり、それぞれの絵に文章が添えられていました。私の出品した「白山頂上」には、次の文が付けられていました。

＜夏山に行けなかった年の9月に上高地でのスケッチ山行に参加しました。これがスケッチクラブの始まりでした。それから数年たった平成4年に1回目の「山の絵展」が開かれ、私の絵が初めて額に入りました。この白山の絵は、平成21年9月に描いています。＞

追悼 我が山の恩師・野村哲也さんを悼む

関西登高会・中村久住



野村哲也さんが、2月13日お亡くなりになりました。

昭和2年京都で誕生され、昭和26年大阪大学ご卒業、昭和41年京都大学院教育社会学専攻修士課程を修了され、近年は大谷大学で教鞭をとっておられました。

昭和26年関西登高会に入会、故梶本徳次郎氏と共に幾

多の国内登山及び海外登山の現役リーダーとして活躍されました。昭和33年冬のペテガリ岳をポーラーメソッドで登った帰路、「皆でヒマラヤへ行こう」と次の目標を定めたそうです。

全日本山岳連盟1961年ヒマラヤ登山隊（ジュガールヒマール登山）副隊長として登山の指揮をされました。以降この登山隊をベースに、小人数・軽量・スピードと機動性に富んだ登山を考え、実践されました。1964年セントエライアス峰（5488m）登山隊副隊長、1965年Mt.デナリ（6194m）登山隊実行委員長、1970年ダウラギリⅥ峰（7268m）登山隊隊長・初登頂、1975年ダウラギリⅣ峰（7661m）登山隊隊長・初登頂をされ関西登高会及び山岳界の進むべき方向を示しました。理論派で目標の山の登り方を合理的に考え実践してゆく行動は、「アルピニズム論の権威」と言われるゆえんです。

我々を導いて頂いた、野村先生安らかにお眠り下さい。

合掌



自己紹介（皆さんよろしく）

助川 征(会員No.15702)

2015年3月、石岡慎介様、重廣恒夫様からご紹介を頂き、入会させて頂きました。1938年、水戸生まれです。「若さを得るには歳月が必要（ピカソ）」をモットーに老いても、なお若さを求めています。

山行き経験は青年時代、日本アルプス銀座(夏)や黒部

から立山などがある程度で、まったくの初心者です。改めて地図の読み方等を近くの登山用品店が行う講習会などで学び始めました。数年前、ネパールで山岳観光の飛行機にりましたが、夢はこの地域でトレッキングが果たせたら幸いです。

仕事現役のため皆勤不可ですが、関西支部「ゆるやか山行」には積極的に参加するつもりです。本部や関西支

部主催行事にも出来るだけ参加し、遅れての入会を少しでも補填したいと考えています。願いは友人づくりです。良い友人になれるよう心がけます。

皆様、よろしくお願ひいたします。

(すけがわ・すすむ 受：2015.12.27)

田島聖子(会員No.15816)

ある朝、新聞の地方版の箇所に東お多福山草原保全・再生活動の記事が掲載されているのを読み、早速山岳会に加入の申込みをいたしました。と申しますのは、当時その活動に参加するためには何れかの団体に所属しなければならず、思いつきましたのが山岳会ということで、最初は会友として、そして今年の7月に会員となりました。

33年間東京に在住していた折には、週末毎に近辺の奥多摩、奥秩父、丹沢の、或いは少し足を伸ばして箱根、谷川の山々を登り、夏には一週間の休みを利用して南、北、中央アルプス、更には東北の山々を堪能して参りました。8年前に神戸に戻りましてからは、山は眺めるばかりで、何か山に対して悶々とした気持ちでいたところに、この東お多福山の記事です。「これだ！いままで楽しませていただいた山への恩返し」と思い、参加させていただくこととなり、現在に至っています。皆さま方と共に汗を流し、ほんの僅かですがその活動の成果を目にするのは何ともいえず、登山とはまた違った喜びであり、充実感を覚えます。

それと並行して兵庫県主催の東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座にも昨年、今年と受講し東お多福山の植生だけでなく、歴史、地質等も学び、最終回には学んだことを実際に一般の登山者にガイドするという経験をいたしました。また、これとは別に今年の7月に青梅で開催された自然保護全国集会、10月京都での「森の勉強会」にも参加させていただき自然保護のかかる様々な問題を知る良い勉強となりました。今夏、唯一気に残っていた梅海新道を走破しました。これからは、体力と相談しつつ自然保護活動に取り組んでいきたいと考えています。

(たじま・きよこ 受2015.12.10)

蓮川博凡(会友)

私が育ったのは、九州の天草、海辺である。1959年、18歳の時、関西に出て、何人かできた友だちの中に、信州出身の人が混じっていた。彼は週末になると、しばしば山に登っており、遊びの延長として、私も次第に付いて行きだした。六甲、大台、比良などを経て、ついには信州の山々へ登った。

その後、世の中に出て、働かざるを得なくなり、私はかなり忙しいこともあって、山登りなどおよそ思いもよらない年月を過ごした。一方、信州の友人は、長野に戻り、高校教師のかたわら教え子らと山登りを続けているとちらほら聞いていた。

やがて、50歳台半ば。古い友だちのもう一人、奈良在住の森沢義信さんが腰痛手術後、リハビリとして山登りを再開したのに釣られて、時々、同行するようになった。奈良の主な山々、とくに大峰連峰、奥駈道をくまなく歩き、ついで熊野古道、西国巡礼道の踏査までに及んだ。つまり、若い時に山の経験が少しあって中断し、壮年に至って再開するという、われわれの世代に知られるパターンの一例にすぎない。

顧みると、牛ならぬ友に引かれて、ついつい山に登っている。半生に渡る足跡は、そう、見えてくる。こうして私にとっての山は、純然たる自然に留まらず、半面、人づきあいなど人文的な色合いが重なっている。

さて、この間、信州の友人は、文字通り、山好きを全うし、数年前、一足早く、世を去ってしまった。当方の紆余曲折の道筋とは、いわば対比的であるといえる。この人と、これから会うのは難しいとは思っているのだが、万に一つ、どこかでばったり再会したら、どう話しかけたものだろうか？ とほとぼ生き残って、考えてみることもある。「なんだか山は、結局、海に向かい合ってるんじゃないだろうか？」。ひとつ尋ねてみたい気がしているところである。

(はすかわ・ひろかず 受2015.12.12)

80周年記念事業募金者芳名一覧(3)

(2016年4月28日現在)

【会員】(会員番号順)

10,000円：②中島隆 ②井関正裕 嶋岡章 西野俊一 平野晋一 南英敏 安喜保 宮野章 20,000円：②小島一喜 杉山イタル 山田和人 ②河野直子 森山宏昭 30,000円：②中村久住 近藤宏 50,000円：十河利雄 大宅秀美 100,000円：②野村珠生 200,000円：②茂木完治 500,000円：②重廣恒夫

【会員外】(五十音順)

10,000円：上山加代子 大川紀美 30,000円：坂口直樹・和子 50,000円：鎌田森恭 (株)ケンコー社 (累計7,290,000円)

平成28年度(公社)日本山岳会関西支部総会

平成27年4月20日(水) 於：ホテルグリーンプラザ大阪・アネックス5階

平成27年度関西支部活動報告

(第1号議案)〔抄〕

【会員動向】

平成27年度、退会者11名、新会員および新会友18名、平成28年3月末で会員242名、会員会友14名、支部会友18名の計274名となった。

【80周年記念事業関連】

主たる記念事業を①八十年史の出版、②記念式典・フォーラムの開催、③海外登山隊の派遣、④支部県境踏査の4事業として、25年度より取り組みを始めた。

記念誌の編集は、すぐさま取り組み、式典で配布することができた。式典は27年5月に実施することとし、26年度にテーマを「但馬が生んだ孤高の登山家、加藤文太郎、植村直己」、会場をホテル北野プラザ六甲荘(神戸市)に決定、予定通り盛会裏に開催することができた。海外登山は対象の選定に努め、東ネパールのナンガマリ峰を目標に定めて隊員を公募、26年度からは地域研究、タクティクス研究、合同トレーニングを実施、28年ポストモンスーン期に登山隊派遣の見込みである。県境縦走については、支部の山行事業の一環として取り組み、28年3月末には高野山天狗木峠に達した。

また、これら事業を推進するため、26年12月に、平林克敏支部評議員を委員長とする「関西支部設立80周年記念事業募金委員会」を立ち上げ、500万円を目標に募金活動を開始した。今年度末にはおかげさまで、目標額をはるかに突破して600万円余の基金が寄せられた。しかしながら海外登山では、物資や人件費の高騰から予想以上の費用が必要となり、登山隊には費用の切り詰め削減を要請しているが、それでもなお資金手当てが出来ていない現状にある。これら諸事情に鑑み、引き続

き募金活動を継続していく所存で、会員各位の更なるご支援をお願いする。

・記念式典・フォーラム・山行

平成27年5月30日ホテル北野プラザ六甲荘にて、関西支部設立80周年の記念式典・記念フォーラムを開催。記念式典は、総勢176名の参加を見た。記念フォーラムでは「但馬が生んだ孤高の登山家、加藤文太郎、植村直己」をテーマに、平林克敏関西支部評議員による講演「植村直己を語る」、加藤芳樹支部委員の脚本・演出による朗読劇「山の声 ある登山家の追想」を行った。翌31日はAコース(79名)、Bコース(16名)、Cコース(21名)の3ルートに別れ、それぞれ六甲山頂に集合し、最後は全員有馬温泉で汗を流した。

・『日本山岳会関西支部八十年史』・『近畿分水嶺踏査』5月に刊行配布

・日本山岳会関西支部「東ネパール登山隊2016」進捗状況

日本山岳会創立110周年、関西支部設立80周年記念事業の一つとして、東ネパール北東部のチベットとの国境線に近いナンガマリⅡ峰(6211m)からナンガマリⅠ峰(6547m)への縦走登山を計画し、準備を進めている。25年6月より故大西保さんを中心に検討、同年11月にナンガマリ峰の縦走を決定。「関西支部報」155号にて参加メンバーを公募した。27年2月の第15回PJ会議からは、「ヒマラヤ登山塾」と名前を変え研究を行い、『登山計画書』を完成させた。27年4月から「ヒマラヤ登山塾」とトレーニング山行を行い、登山技術や体力の向上を図ってきた。27年4月25日のネパール大地震により登山隊の派遣が危ぶまれたが、登山を予定している東部地域は被害も少なく、登山隊の派遣が復興支援に繋がることにもなり、本年秋実施することにした。

各委員会の活動は以下のとおりである。

総務委員会

- ・総会 4/22 ホテルグリーンプラザ大阪・アネックス 38名
- ・評議員会 6/25、28年3/2、4/13
- ・委員会 7回開催
- ・夏期懇談会 8/26 記録映画「白き氷河の果てに」解説：重廣恒夫氏 於 ホテルグリーンプラザ大阪・アネックス 69名
- ・新年会 28年1/27 梅田大東洋 49名
- ・藤木祭(第26回)【公益事業】 9/28 芦屋・高座の滝前 約120名(大阪府・兵庫県各山岳連盟共催)
- ・総務委員会(拡大委員会含む) 6回

山行委員会

【公益事業】

- ・登山教室 初級・中級・上級 延べ319名受講
- ・山の日の関連行事「わんぱく探検」 11/15 11名(内子供3名)参加

【共益事業】

- ・関西支部県境縦走 12回 延べ245名参加
- ・4000山グランプリ 11回 延べ158名参加
- ・ゆるやか山行「里山探訪」10回 延べ255名参加
- ・花見山行、沢例会、レスキュー講座 2回、陽だまり山行、しっかり歩こう、海外トレッキング等 8件 延べ123名参加

自然保護委員会【公益事業】

- ・日本山岳会関西支部本山寺山の森 森林保全活動 「社会貢献の森」として協定を更新 「本山寺山森林づくりの会」を活動主体として実施 延べ32日 230名参加
- ・東お多福山草原復元活動 9団体による協働活動に延べ19日 34名参加
- ・やまみち保全巡視活動

- 本山寺山の森保全活動日に隣接の東海自然歩道・里道の、東お多福山スキ草原復元活動日に登山道の保全活動
- ・第8回森づくり協議会 東大演習林(愛知県瀬戸市) 4/18~19 1名参加
 - ・自然保護全国集会 高尾の森(東京都青梅市) 7/11~12 3名参加
 - ・自然観察会 奈良県川上村 7/15 8名参加
 - ・第19回森の勉強会〔東海・京都・関西支部自然保護委員会共催〕 景観の森づくり(京都市嵐山) 10/24~25 7名参加
 - ・環境省近畿環境事務所関係 吉野熊野国立公園指定八十周年・拡張記念式典 和歌山県白浜町 2/13 1名参加
 - ・大台ヶ原の利用に関する協議会 奈良市 3/2 1名参加

図書委員会

- ・山の日関連行事【公益事業】 「著者と語る会」11/14 大阪府立中央図書館 54名参加
演題「山でいろんなモノに会いました！クマとか変なヒトとかオバケとか」講師：ゲキさん
- ・「蔵書を読む会」支部ルーム 2回(6/15、9/14) 延べ5名参加
- ・蔵書の整理 蔵書を読む会当日実施
- ・寄贈資料受入れ 支部報に掲載

広報委員会

- ・支部報関連、HP関連で5回の委員会開催
- ・支部報の刊行 4回(160号~163号)

その他

- ・スケッチ同好会 6回延べ72名参加
 - ・水曜会 11回延べ84名参加
- 以上

~~~~~  
**平成28年度役員候補(第3号議案)**  
~~~~~

平成27年6月20日の重廣恒夫前支部長の退任に伴い、金井良碩副支部長が支部長の職務を代行してきました。この度、新たに支部長を推薦するとともに、空席となる副支部長を推薦いたし

ます。なお本来の役員の任期は平成27・28年度の2ヵ年ですが、ともに残任期間の1年となります。

- 支部長 (6988)金井良碩
- 副支部長 (9582)水谷 透
- 同 (13568)茂木完治

~~~~~  
**平成28年度関西支部活動方針**  
~~~~~

(第4号議案)〔抄〕

平成28年度は引き続き80周年記念事業の残された課題である、支部県境縦走踏査、東ネパール登山隊の派遣によるナンガマリⅡ峰からⅠ峰への縦走の成功を目指して取り組む。そのため、「東ネパール登山隊事務局」を設置し、支部として十分な支援体制を整える。併せて80周年記念事業完遂のため募金活動を継続する。山行については、若い登山者の技術と登山意識向上のため、次世代育成研修を実施する。また新たなメニューとして「熊野古道伊勢路シリーズ」を開始し、より幅広い層の参加を募る。

各委員会の活動方針は以下のとおりである。

総務委員会

- ・会員の親睦と情報交換の場として、総会、新年会を継続実施
- ・組織の充実を目指し、各種会議および各委員会活動との連携と効率化を図る
- ・「親子登山教室&指導者講習会」について 本部の「家族登山普及委員会」の開催要請を受け、協力する
時期 10月15日(土)~16日(日)
会場、宿舎、山行コース等未定
- ・「東ネパール登山隊」壮行会及び報告会を予定
- ・藤木祭【公益事業】 大阪府・兵庫県各山岳連盟と協議し、「山の日」関連事業として位置付ける
第27回は平成28年10月2日(日)開催予定
- ・新年会 平成29年1月開催予定 梅

田大東洋

- ・総務委員会 適宜開催

山行委員会

- ・登山教室の継続(初級・中級・上級)
- ・「県境縦走」、難易度の高い「4000山グランプリ」、「ゆるやか山行」の3本を柱に、山行の充実を図って幅広い層の参加を募り、都市部以外の会員の掘り起こしと共に会員・会友の増加に努める
若い登山者の技術と登山意識向上のため、海外登山に向けて実施してきたトレーニングを、発展的に次世代育成研修に切り替え実施する
- ・「山の日」関連事業として「わんぱく探検」を行う
- ・沢登り・岩登り講習・四国支部との交流登山・海外トレッキング等の継続と一般山行の充実
- ・登山計画書提出と緊急カード携行の義務付け、セルフレスキュー講習の継続を図り、事故対策に努める
- ・山行委員会 適宜開催
- ・具体的な活動計画

【公益事業】

- ・登山教室の開講-初級(北摂の山)、中級(六甲の沢等)、上級(岩登りの初歩と沢・冬山)
- ・「山の日」関連行事「わんぱく探検」1回
- ・セルフレスキュー講座 2回

【共益事業】

- ・関西支部県境縦走 毎月1回
- ・4000山グランプリ 毎月1回
- ・ゆるやか山行 毎月1回(7・8月を除く)
- ・熊野古道伊勢路 6回
- ・沢例会 1回
- ・海外トレッキング 1回
- ・一般山行 数回実施

自然保護委員会【公益事業】

- ・森林保全活動-日本山岳会関西支部本山寺山の森 「本山寺山森林づくりの会」を活動主体として「社会貢献の森」5年目の活動を行う
森林・山村多面的機能発揮交付金申

- 請による定例活動を主とする
 自然観察会 2回、幼木採集、ナラ
 枯防止対策、鹿捕獲活動等に協力
 ・東お多福山草原復元活動
 東お多福山草原保全・再生研究会に
 よるススキ草原復元の協働活動に参加
 春・夏・秋の植生調査と管理作業、冬
 期全面刈り作業 3回
 ・やまみち保全巡視活動
 本山寺山森林づくり活動時に隣接の
 東海自然歩道を保全整備、東お多福
 山登山道整備・観察路検討
 ・自然保護全国集会 7/16～17 牧
 野記念館(高知県)
 ・自然観察会 夏に大台ヶ原で予定
 ・第20回森の勉強会

- 11/5～6 奈良県 天然記念物の暖
 温帯樹林の自然観察
 ・大台ヶ原の利用に関する協議会12～
 3月 奈良県 2回(予定)
 ・第9回森づくり協議会 予定
 ・自然保護委員会 4月・10月各第3
 火曜日予定

図書委員会

- ・「著者と語る会」【公益事業】
 山の日関連事業として開催予定
 ・「蔵書を読む会」年3回予定
 ・蔵書の整理 蔵書を読む当日に実
 施、在庫蔵書の頒布も検討
 ・寄贈図書受入れ

広報委員会

- ・支部報164号～167号の刊行

- 各号24頁建て400部を予定
 ・ホームページ運営計画
 HP評価を受け、前期にサイトマッ
 プを検討する
 サイトマップ検討後、順次レイアウ
 ト等の改訂を実施したい
 ・その他
 行事報告記事の圧縮
 事業報告だけでなく、多くの会員か
 らの投稿を掲載したい
 HP保守担当者の確保
その他
 ・スケッチ同好会 奇数月に開催
 ・水曜会 毎月1回水曜日に開催
 以上

平成27年度収支報告並びに平成28年度収支予算

一般会計収支報告(平成27年4月1日～平成28年3月)

【第2号議案1】

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	336,220	府岳連会費	15,000
本部運営交付金(192名)	192,000	借室費・集会費	624,497
本部事業補助金(192名)	288,000	通信費	109,344
入会報奨金(8名)	32,000	事務用品費	55,111
支部会費(108名)	337,000	支部報	477,841
支部会費(次年度分)(87名)	279,000	送金手数料	28,186
支部報広告掲載料	90,000	旅費交通費	26,533
事業収入	1,276,388	事業費	1,210,987
受取利息	39	雑費	59,522
80周年記念品販売	16,000		
支部図書販売	2,400		
80周年記念事業残金	15,955	特別会計繰越金	0
		次年度繰越金	257,981
合計	2,865,002	合計	2,865,002

平成28年度一般会計収支予算【第5号議案】

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	257,981	府岳連会費	15,000
本部運営交付金(190名)	190,000	借室費・集会費	670,000
本部事業補助金(190名)	247,000	通信費	100,000
入会金報奨金(15名)	60,000	事務用品費	50,000
支部会費(130名)	410,000	支部報	500,000
支部会費(次年度分)(110名)	350,000	送金手数料	30,000
支部報広告掲載料	170,000	旅費交通費	30,000
事業収入	1,189,000	事業費	1,090,000
受取利息	30	雑費	40,000
		予備費	349,011
合計	2,874,011	合計	2,874,011

貸借対照表(平成28年3月31日現在)【第2号議案2】

資産の部		負債及び正味財産の部	
現金	22,465	剰余金	
銀行預金	29,208	内訳	
郵便貯金	206,308	〔一般会計〕	257,981
金銭信託	3,190,014	〔特別会計〕	3,190,014
		〔ルーム運用金〕	0
合計	3,447,995	合計	3,447,995

本日会計監査を行い、正確であることを認めました。

2016年4月13日

公益社団法人日本山岳会関西支部

監事 中島 隆 ㊟

監事 中村久住 ㊟

水曜会のご案内

【会場】 支部ルーム 18:30～

【開催日】 7月13日(水)、9月14日(水)

【申込】 開催日は変更になる事があります。参加予定者は開催前月末までに担当者宛て実施日の確認と参加連絡をお願いします。

担当：辻 和雄 tsuji.kazuo.b@gmail.com

【報告】

2月3日(水) 参加者による山行 出席6名

3月9日(水) 戦後間もなくの登山事情 出席12名

4月13日(水) ベトナム最高峰ファンシーパン山 出席10名

Room日録 2016年

2月3日(水) 水曜会	3月2日(水) 海外登山資料作成	4月6日(水) 拡大総務委員会
5日(金) 支部報編集委員会	5日(土) 第14回ヒマラヤ塾	13日(水) 会計監査
9日(火) 財務委員会	9日(水) 水曜会	評議員会
12日(金) 会計作業	11日(金) 財務委員会	19日(火) 総会準備
13日(土) 第13回ヒマラヤ塾	15日(火) 支部業務打合せ	22日(金) 海外登山隊荷発送作業
17日(水) 財務委員会	16日(水) 入会希望者面談	支部事務業務
19日(金) 支部事務業務	支部報発送	26日(火) 支部事務業務
24日(水) 支部委員会	22日(火) 入金確認	27日(水) 第15回ヒマラヤ塾
3月1日(火) スケッチ同好会打合せ	25日(金) 支部事務業務	28日(木) 本山寺山森林づくりの
2日(水) 評議員会	26日(土) 総会議案打合せ	会事務局会議
	4月3日(日) 入金確認	山行委員会
	5日(火) 財務委員会	29日(金) 80周年募金事務

スケッチ同好会 例会の報告とご案内

第13回 案内

日 時 平成28年 9月12日(月)10:00~15:00
 行 先 京都府立植物園
 集 合 京都市営地下鉄北山駅改札口前 10時
 持ち物 水彩画を主とする画材一式、カメラ、弁当、
 飲み物、折り畳み椅子、傘など
 申 込 平成28年 9月 5日(月)迄 薦田佳一宛
 komoda-keimasa@giga.ocn.ne.jp
 電話 072-694-8035 携帯 080-5704-1731
 備 考 小雨決行 詳細は後日参加申込者に通知

※7月は休会します。

第11回報告

日 時 平成28年 3月21日(月・祝)晴
 行 先 大津湖岸なぎさ公園
 【参加者】野村哲夫 岩崎しのぶ 浦上芳啓 金井
 良碩 岐部明弘 小寺佳美 嶋岡章 松上美代子
 横山規江 久保和恵 計10名



大津湖岸なぎさ公園より比叡の山 画 金井良碩



賑わったグループ展 出展者記念撮影 写真提供：浦上芳啓

第一回グループ展報告

会 期 平成28年 4月12日(火)~16日(土)
 会 場 大阪市総合生涯学習センター ギャラリーA
 (大阪駅前第2ビル5階)

来場者数 約300名

初めてのグループ展でしたが、皆様のご協力のお陰をもちまして無事終了することが出来ました。ありがとうございました。

受贈一覧

(2016.2.1~4.30受理分)

山岳大阪 No.207, 208(各別冊共) 大阪府山岳連盟
 登山月報 第563, 564, 565号 日本山岳協会
 兵庫山岳 第586号 兵庫県山岳連盟

日本山岳会支部報
 ・青森支部報 第16号
 ・千葉支部だより 第34号
 ・[東京] たま通信 第23, 24号
 ・埼玉支部報 第17号
 ・富山支部会報 No.101
 ・福井支部報 No.29

・甲斐山岳 第8号
 ・岐阜山岳 第79号
 ・東海支部報 No.145
 ・[京都・滋賀] 支部だより No.122
 ・JAC Hiroshima 第59号
 ・JAC北九だより No.75, 76
 ・宮崎支部報 第56号

2016年度7月~9月 支部山行計画

※申込先は、後のリストを参照してください【いずれも締切厳守】

16-14 しっかり歩こう

「六甲 檜ヶ峰から大藪谷・とかが尾・林山」
 日 時：7月3日(日)
 集 合：阪急逆瀬川駅 バス乗場 8時30分集合
 コース：逆瀬川駅=ゆずり葉台—檜ヶ峰—小笠峠—大藪谷—小天狗山—とかが尾—林山—芦屋川駅
 地 図：2.5万分の1「宝塚」「西宮」
 備 考：地図を見ながらしっかり歩く山行です
 歩行距離 約20km
 申込み：6月26日迄(担当：山内幸子)

大半は県道・国道歩きです

詳細は申込者に送ります

申込み：7月17日迄(担当：久保和恵)

16-15 4000山グランプリ

「若栃山1593.2m」
 日 時：7月9日(土)・10日(日)
 コース：飛騨小坂駅~カラ谷(沢登り)若栃山~飛騨小坂駅
 地 図：2.5万分の1「湯屋」
 備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください
 難易度の高い山 テント山行 一般参加可
 山岳保険加入が必須
 80周年記念海外登山のトレーニング山行
 申込み：6月30日迄(担当：重廣恒夫)

16-17 県境縦走43

日 時：7月30日(土)・31日(日)
 コース：前月の進捗状況によりコースが決まります
 HP等で確認してください
 備 考：詳しくは申込者に連絡します
 申込み：7月16日迄(担当：山内幸子)

16-18 関西支部県境縦走44

日 時：8月7日(日)・8日(月)
 コース：前月の進捗状況によりコースが決まります
 HP等で確認してください
 備 考：詳しくは申込者に連絡します
 申込み：7月24日迄(担当：山内幸子)

16-16 熊野古道伊勢路シリーズ2

「JR田丸駅から梅ヶ谷駅」
 日 時：7月27日(水)・28日(木)
 集 合：大阪梅田ダイワハウス前 7時
 コース：27日 大阪梅田=田丸駅—女鬼峠—柳原観音千福寺—JR三瀬谷駅(27.5km 歩行時間約7時間20分 民宿泊)
 28日 JR三瀬谷駅—滝原宮—阿曾観音堂—岩船橋—寶蔵寺—大内山—里塚—JR梅ヶ谷駅=大阪梅田(25.8km 歩行時間約7時間)
 備 考：中型バス利用 民宿やバス利用のため定員25名

16-19 4000山グランプリ 四国支部と合同山行

「天狗の森・不入山・鶴松森・横倉山」
 日 時：8月20日(土)・21日(日)
 コース：20日 徳島=不入山(往復)—鶴松森山(往復)—横倉山—高知少年自然の家(泊)
 21日 横倉山(往復)=徳島
 地 図：2.5万分の1「王在家」「土佐魚梁瀬」
 備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください
 難易度の高い山 テント山行 一般参加可
 山岳保険加入が必須
 申込み：8月5日迄(担当：家段勝好、重廣恒夫)

16-20 熊野古道伊勢路シリーズ3

「JR梅ヶ谷駅から八鬼山登山口」
 日 時：8月24日(水)・25日(木)
 集 合：大阪梅田ダイワハウス前 7時
 コース：24日 大阪梅田=梅ヶ谷駅—荷坂峠—三浦峠—始神峠—JR相賀駅(28.3km 歩行時間約7

時間10分 旅館泊)

25日 JR相賀駅—馬越峠—八鬼山登山口(12.1km 歩行時間約4時間10分)

備考：中型バス利用 定員25名

詳細は申込者に送ります。

申込み：8月15日迄(担当：久保和恵)

16-21 しっかり歩こう

「北摂 歌垣山から妙見奥の院・妙見山・天台山コース」

日時：9月11日(日)

集合：能勢電鉄妙見口駅 9時47分バス乗車

コース：妙見口駅＝歌垣山登山口—歌垣山—妙見奥の院—妙見山—天台山—青貝山—妙見口駅

地図：2.5万分の1「妙見山」「広根」

備考：地図を見ながら約23km歩く山行です
暑い時なのでコース変更の場合あり

申込み：9月1日迄(担当：山内幸子)

16-22 ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる35

「北摂 十方山から天王山」

日時：9月15日(木)

集合：阪急水無瀬駅改札口前 9時30分集合

コース：水無瀬駅—水無瀬神宮—水無瀬の滝—十方山—天王山—宝積寺—阪急大山崎駅

地図：2.5万分の1「淀」

備考：里山を歴史や文化を訪ねながらのんびり歩く山行でコースを変更する場合があります
歩行距離約9km 歩行時間約3時間30分

申込み：9月8日迄(担当：久保和恵)

16-23 熊野古道伊勢路シリーズ4

「八鬼登山口からJR二木島駅」

日時：9月28日(水)・29日(木)

集合：大阪梅田ダイワハウス前 8時

コース：28日 大阪梅田＝八鬼登山口—九鬼峠—八鬼山—名柄一里塚跡—民宿(8.4km 歩行時間約4時間30分 民宿泊)

29日 民宿—羽後峠—甫母峠—JR二木島駅＝大阪梅田(11.5km 歩行時間約3時間40分)

備考：中型バス利用 定員25名

申込み：9月15日迄(担当：久保和恵)

各山行は
担当委員もしくは支部宛にお申し込みください
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

ステップアップ登山教室 一般対象 募集中

1stステップ

初級 7月5日(火) 峯ヶ畑～扶養ヶ岳～山王山

中級 7月7日(木) 三ツ下谷～石楠花山～双子山

上級 7月26日(火) 不動岩周辺

2ndステップ

初級 『地図とコンパスを持って北摂の山を歩く』

8月2日(火) 地図とコンパスの見方・使い方(座学)

9月6日(火) 向山～鐮射山

10月4日(火) 百丈岩～秀ヶ辻山～高座山

11月1日(火) 行者山～菩提山～加茂山～金毘羅山

中級・上級 <休講>

2016年7月～9月 自然保護行事

1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日：7月7日(木)・7月17日(日)・8月11日(木祝)・8月21日(日)・9月1日(木)・9月18日(日)

作業内容：林床・天然林・人工林整備 天然林除伐
作業道・自然歩道・登山道整備など

2 東お多福山スキ草原復元活動

・7月20日(水) 夏の植生調査と管理作業〔予備日7月21日(水)〕

3 自然観察会

・9月29日(木) 奈良県・大台ヶ原尾鷲道の観察

問い合わせ・申込み先

斧田一陽 TEL&FAX 072-633-6556 / 090-4037-4542

※締め切り：開催日の一週間前まで

※集合：本山寺山の森 JR高槻駅北口アルプラザ前

東お多福山 阪急芦屋川駅

いずれも8時50分

個人山行の「登山計画書(届)」の提出と

「緊急連絡カード」の携行についてお願い

関西支部では従来から登山計画書(届)の事前提出が義務づけられています。

「支部主催の山行」はもとより、他支部山行への参加、所属山岳会の山行、個人山行も対象になりますので、今後につきましては、以下の運用基準に従って登山届の提出をお願いします。

【運用基準】

1. 日本山岳会関西支部員は以下の山行に当って「登山計画書(届)」を提出する。
 - (1) 関西支部主催または他支部、所属山岳会の宿泊をとまなう山行
 - (2) 個人山行
 - ① 海外登山、海外トレッキング
 - ② 積雪期、岩登りや沢登りなどの日帰り山行
 - ③ 宿泊を伴う山行
2. 登山計画書(届)提出先は、関西支部長、副支部長、山行委員長とする。
3. 本部への登山計画書提出は、山行委員長より行う(個別には提出しない)。
4. 登山計画書は緊急連絡先(人)にも渡しておくこと。
5. 現地登山口登山届提出所(ポスト)、派出所にも提出のこと。
6. 登山計画書(届)の様式は、支部所定のものとする。
7. 「緊急連絡カード」の携行

※登山計画書・緊急カードの様式は、支部報HPまたは山行委員長から入手する。

※提出方法は、郵送、FAX、メール添付ファイルのいずれでもよい。

※緊急の場合は、メールでの連絡も可とするがその場合、下記の項目は必ず記載のこと。

- ① 氏名
- ② 生年月日
- ③ 住所
- ④ 携帯電話番号
- ⑤ 同行者がある場合その氏名・携帯電話番号
- ⑥ 日程
- ⑦ 目的の山
- ⑧ 入・下山コース概略
- ⑨ 緊急連絡先氏名
- ⑩ 緊急連絡先電話番号

【提出先】

支 部 長	金井良碩	kanai-y@w4.dion.ne.jp
副 支 部 長	水谷 透	jacmztn@yahoo.co.jp
同	茂木完治	yib03510@nifty.com
山行委員長	山内幸子	sacchyama2f0710@yk2.so-net.ne.jp

ナカニシヤ出版

〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町一五(本体価格)

電話 075-1723-0111
FAX 075-1723-0095



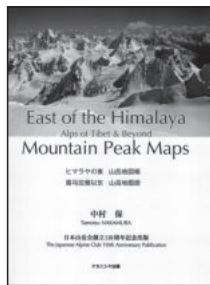
東部カラコルムからアッサムまで、東西約千kmに広がるインド・ヒマラヤを13の山域に大別して624座を厳選し、各山域の概説と入山事情、概念図と写真、登山記録と登山史、文献などを集約した。

インド・ヒマラヤ

◎待望の日本初、インド・ヒマラヤの本格的総括書

日本山岳会東海支部 編著

A5判上製 650頁 6000円



ヒマラヤの東山岳地図帳

チベットのアルプスとその彼方

中村保著

菊倍判上製 352頁 10000円

この地図帳は、世界の登山界では例のない画期的な業績と言えるだろう。中国でも出ていないきわめて精密詳細な地図と、まったく未知であった山、山群の写真。次の世代に残す価値のある作品だ。……斎藤惇生



改訂新日本山岳誌

◎最新・最大の「山の百科事典」待望の改訂版 完成!!

写真地図多数 18000円

震災や噴火、水害などによる地形や登山道の変化、平成の大合併による地名変更、最新測量法による数値改定など、日本山岳会32支部が全国四千山にまつわるすべての情報を再確認・再検証した。

限定10名様 世界中のバックパッカーが憧れるロングトレイルを歩く

ジョン・ミューア・トレイル・トレッキングと世界遺産ヨセミテ国立公園8日間

出発日～帰着日	旅行代金(東京発着)
7/22(金)～7/29(金)	¥698,000
8/03(水)～8/10(水)	¥698,000
9/09(金)～9/16(金)	¥658,000

※大阪～東京間のお得な日本国内線特別代金プランあり。

★世界中のロングトレイルの中でも特に人気のあるジョン・ミューア・トレイル。シエラネバダの雄大な自然を感じながら、3泊4日のテント泊で踏破します。



▲サウザンドアイランド・レイクとパナー・ピーク

～摩周湖から北海道遺産の酪農地帯をつなぐ「ロングトレイル」～北根室ランチウェイ・スルーハイク5日間

【期間】8/22(月)～8/26(金) 【旅行代金】¥168,000

★道東の広大な牧草地には、北海道遺産に指定された防風林の特色ある景観が広がっています。このツアーでは変化に富んだ第1から第6ステージまでを全踏破します。

原野一面のお花畑を訪ねる季節限定企画

花の楽園ナマクワランドとウエストコースト国立公園、ケープ半島ハイキング10日間

出発日～帰着日	旅行代金(大阪発着)
8/30(火)～9/8(木)	¥498,000

※大阪(関空)からツアーリーダーが全行程同行します。

★驚異的とも言える規模でお花が群生する、南アフリカ西部のナマクワランドやウエストコースト。雄大な展望が楽しめる喜望峰や絶景のテーブルマウンテンでのハイキングも満喫します。



▲原野一面のお花畑の中をゆったりハイキング

～長野・新潟の県境に延びる「ロングトレイル」を歩く～紅葉の信越トレイル「セクション4～6」4日間

【期間】10/17(月)～10/20(木) 【旅行代金】¥84,000

★紅葉の原生林に覆われた「信越トレイル」は全長約80kmが6つのセクションに分けられており、このツアーでは、後半のセクション4～6を踏破します。

※来年5月下旬の新緑シーズンに、前半セクション1～3を歩く続編を発表予定。



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種) / 一般社団法人日本旅行業協会 正会員

ALPINE TRIP SERVICE 株式会社

大阪 06-6444-3033
〒550-0003

大阪市西区京町堀1-4-3(TCF肥後橋ビル2階)

〈編集後記〉

☆支部報の編集をお手伝いし早いもので8年目に入りました。支部の活動状況をお伝えしながら、行事に参加していただける契機になればと願っています。果たしてどこまで出来ているのか、いつも気になるところです。☆そろそろ、次の担当者に引き継ぐことも考えなければならないと感じています。支部報編集に興味ある支部会員のご協力を切に望んでいます。☆校正作業の合間に気心の知れた友人と南奥駈道を歩いてきました。新緑の山なみに癒やされ、登り残していた宿題の一つを果たせたのが何よりでした。(N)

発行日 2016(平成28)年6月10日
発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室
公益社団法人 日本山岳会関西支部
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00930-6-55950
発行者 金井良碩
編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄
制作 株式会社 双陽社
大阪市北区堂島2-2-28